

BeFine!

証券コード 6869

第44期

第3四半期株主通信

2010年4月1日～2010年12月31日



特集 ようこそシスメックス 従業員がご案内するシスメックスの拠点

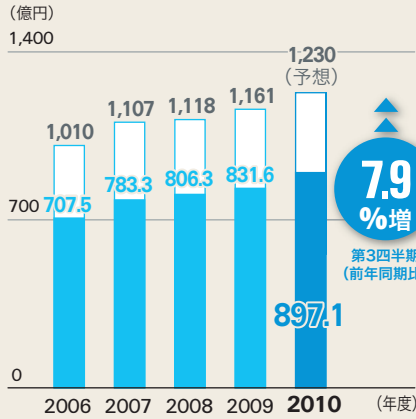
実録! 変わる検査室

医療・検査の向上に貢献するシスメックスのトータルソリューション提案

詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

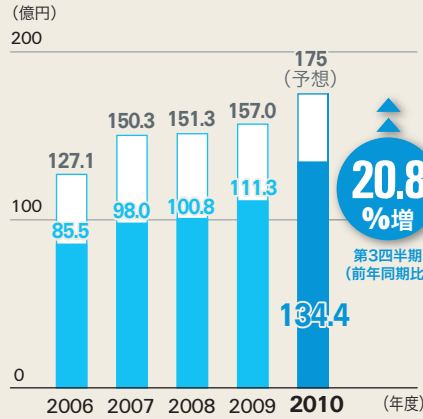
□ 通期 ■ 第3四半期累計

売上高



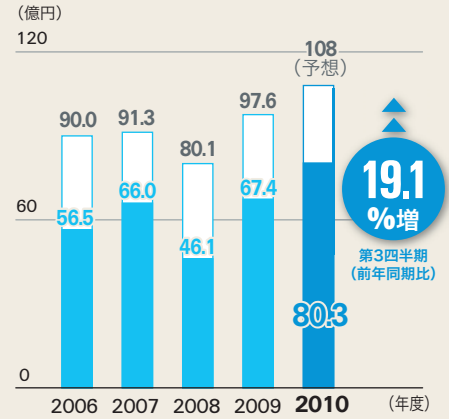
大幅な円高の影響を受けた欧州を除き、各所在地で増収となり、昨年度に比べて65.5億円増の897.1億円となりました。

営業利益



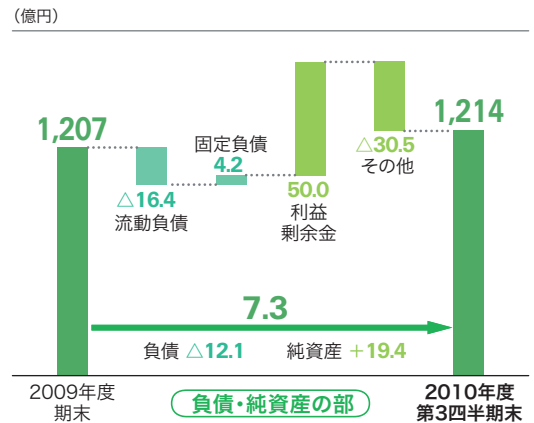
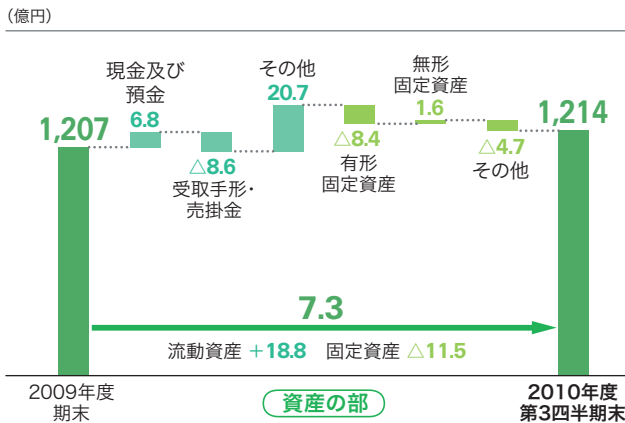
米州・中国・日本などでの増収効果により、昨年度に比べて23.1億円増の134.4億円となりました。

四半期純利益

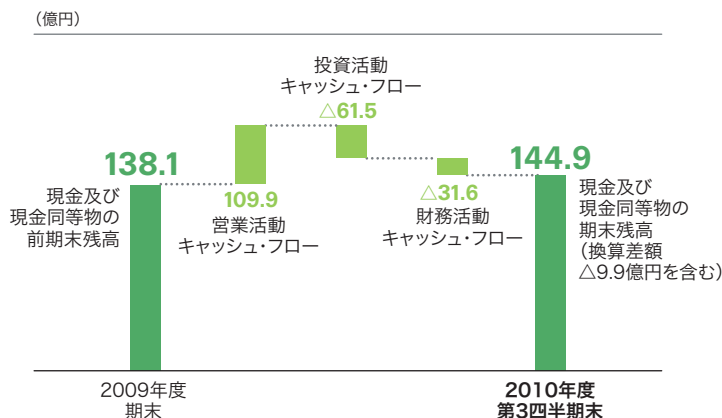


為替差損の影響はありましたが、営業利益の増加により、昨年度に比べて12.9億円増の80.3億円となりました。

●貸借対照表の増減要因



●キャッシュ・フローの増減要因



IRウェブサイトのご案内

シスメックス
バーチャルツアーを
公開中!



シスメックスの
国内外の拠点を
ご紹介!

ぜひご覧ください。

www.sysmex.co.jp/ir/

※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と異なる可能性があります。

円高の影響を受けながらも海外が大きく伸長し、 売上・利益ともに過去最高を達成しました。

第44期
第3四半期の
ポイント

- ポイント ① 円高の影響を受けつつも売上・利益ともに過去最高を達成
- ポイント ② 米州・中国・日本などの増収により営業利益が増加

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社グループの2010年度第3四半期の業績は、円高による為替の影響を大きく受けながらも、売上・利益ともに過去最高を達成しました。売上高は大幅な円高の影響を受けた欧州を除き各所在地で増収となり前年同期比7.9%増、営業利益は米州・中国・日本などの増収により同20.8%増、経常利益は同16.4%増、四半期純利益は同19.1%増となりました。なお前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比15.1%増、営業利益は同43.4%増を達成したことになります。

海外は販売・サービス体制の強化やソリューション提案を進めた結果、現地通貨ベースでは全所在地で二桁増収を達成しました。特に中国の伸びは著しく、現地通貨ベースで売上高は前年同期比39%増でした。これにより、当社グループの海外売上高比率は70.3%となりました。

国内はソリューション提案の推進により大型案件の受注が増加し、前期のインフルエンザ流行による検査キットの売上分を補い、国内売上高は前年同期比5.0%増となりました。

当期の主な取り組みとして、当社は大腸がんリンパ節転移検査を世界で初めて自動化しました。これは当社が開発した^{オスナ}OSNA法を、乳がんに加えて大腸がんへ適用拡大することに成功したもので、厚生労働省より製造販売承認を取得しました。今後も、OSNA法を他のがん種のリンパ節転移検査にも活用できるよう研究開発に取り組んでまいります。

なお、通期業績予想につきましては、当第4四半期以降も概ね計画どおり推移することが見込まれることから、2010年11月発表の予想から変更はありません。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■2010年度通期業績予想

(億円)

	売上高	営業利益	当期純利益
2010年11月発表	1,230	175	108
2009年度実績	1,161	157.0	97.6

※2010年度第4四半期想定為替レート：1USドル=80円、1ユーロ=110円



代表取締役社長

家次恒

いえつく ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年、代表取締役社長に就任。【趣味】読書、ゴルフ、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

【所在地別セグメント】

内部売上高：関係会社への輸出など
外部売上高：日本のほかに、韓国・台湾・アイデックス社向けなどの売上を含む。

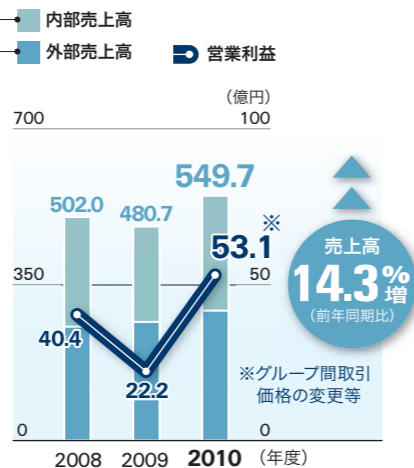
	2008年度 第3四半期	2009年度 第3四半期	2010年度 第3四半期
1 USD	102.8	93.6	86.8
1 ユーロ	150.7	133.0	113.3

日本

- ① ソリューション提案の推進により、継続して大型案件を獲得し、売上が増加しました。
- ② 米国アライアンス先への動物用検査装置の販売が本格化しました。(日本からの輸出)



動物用自動血球分析装置 ProCyte Dx (アイデックス社販売名称)



米州

- ① 北米では、ヘマトロジー分野*において、退役軍人病院グループなどへの販売が好調に推移しました。
- ② 中南米最大規模であるブラジルの検査センターへ当社製品が導入されました。



シスメックス ブラジル



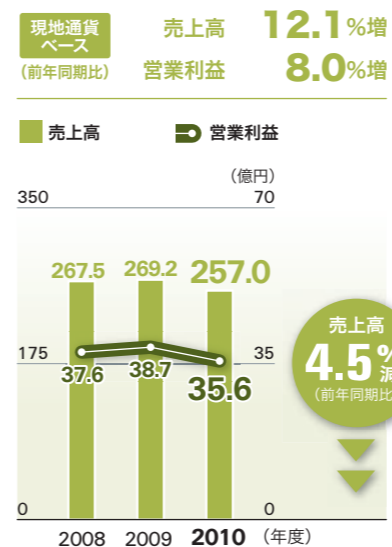
欧州

- ① 現地通貨ベースでは、主要5カ国*を中心に、売上の二桁成長が継続しています。
- ② 東欧・ロシア・中東など新興エリアでの売上も拡大しています。

*イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン

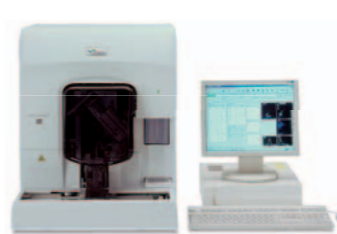


多項目自動血球計数装置 pocH-100i

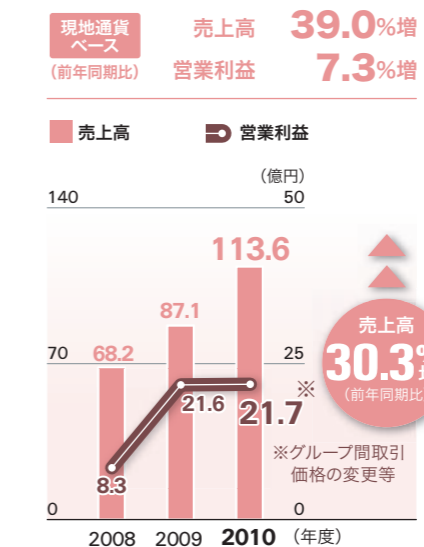


中国

- ① 医療需要の拡大に伴い、ヘマトロジー分野の機器アップグレード化が進展し、大幅に売上が増加しました。
- ② 血液凝固分野では、新たな検査項目の需要拡大に伴い機器売上が増加しました。



多項目自動血球分析装置 XT-4000i

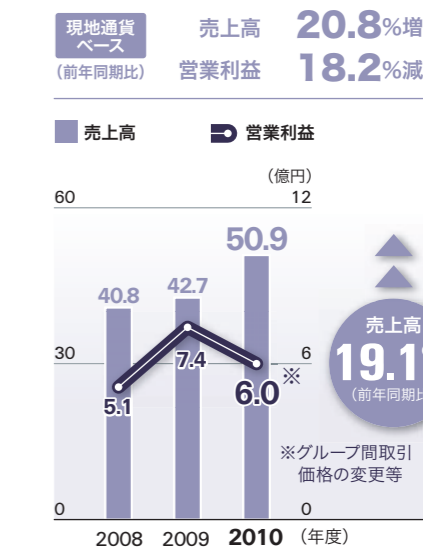


アジア・パシフィック

- ① 医療インフラの整備が進むアジアでは、直販エリアであるインドネシア・マレーシアの売上が増加しました。
- ② グループ間取引価格の変更や販売・サービス体制整備に伴う販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益は減少しました。



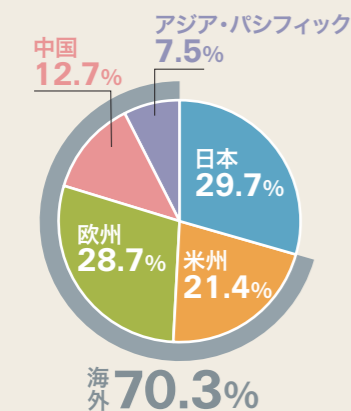
シスメックス マレーシア



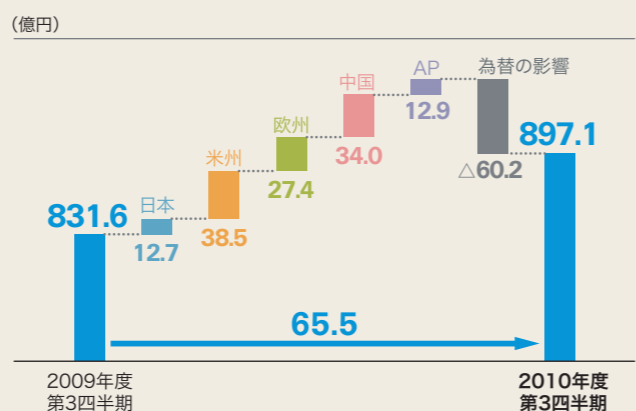
(注) 韓国・台湾を除きます。

【地域別セグメント】

●売上高構成品



●売上高の増減要因



当社独自の技術により、世界で初めて大腸がんリンパ節転移検査の自動化を実現!

当社は、がん転移の有無を高精度に判定する独自技術「直接遺伝子増幅法(OSNA)」を、乳がんに加えて大腸がんへ適用を拡大することに成功し、厚生労働省より製造販売承認を取得しました。

現在、大腸がんの転移の有無は、手術で摘出された12個以上のリンパ節の切片を、病理医の先生が顕微鏡で

観察して判定しています。従来よりも短時間で高精度な検査結果を得られるOSNAは、適切な治療方針の決定や検査業務の負担軽減、治療の均てん化*にも貢献することが期待されます。

今後は胃がんなど他のがん種にもOSNAを活用できるよう、さらなる研究開発に取り組んでまいります。



遺伝子増幅検出装置 RD-100iと試薬

*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*均てん化: どの医療機関でも標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術などの格差の是正を図ること。

実録! 変わる検査室

医療・検査の向上に貢献するシスメックスのトータルソリューション提案

私たちが訪問!



健太
シスメックスの株を保有して5年。神戸に住み、地元企業・シスメックスを応援している。



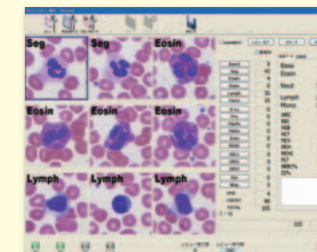
みどり
健太の妻。夫を支えるしっかり者で、健康への関心が高い。

医学の進歩とともに、より高度な専門性に加え、患者さんへのサービス向上も求められている医療の現場。医療機関の多様な課題に対し、シスメックスはどのような提案を行い、解決を図っているのでしょうか?

ポイント

2 医師の診療・治療をサポートする情報提供を支援

単に数値のみの検査結果ではなく、臨床的な意義や基準値などの情報を付加することにより、医師の診断支援につながる情報提供サポートを行っています。例えば、血液の細胞画像を電子化・データベース化することで、血液内科への情報提供の充実に貢献しています。



今回のご案内役

トータルソリューション部
営業推進課長

津呂 尚樹

検査の高度化や効率化、医療サービスの向上など、お客様のさまざまな課題を解決し、総合的にサポートする提案活動に努めています。

ネットワークで管理されているのね!

次々と自動で流れてくるな...

ポイント

1 3D映像を活用し、検査室全体をコーディネート

より効率的に検査が行える検査室の環境整備はもちろん、患者さんの待ちスペースも改善。待ち時間をより快適に過ごしていただけるような空間づくりも提案しています。提案には3D(立体)映像を活用し、改善後の様子をイメージしていただきやすくしています。



ポイント

3 検査室全体のネットワーク化により、検査の安全性を確保

ITを利用して検査室全体をネットワーク化することにより、人が介在する工程を極力減らしています。さらに、患者さんから採取された血液や尿をバーコードで管理し、検査データが正しく記録されるようにすることで、検査の安全性を確保しています。



津呂 今回は特別に、私たちのお客様である病院の検査室へご案内します。

みどり わぁ! シスメックスの製品がいっぱい!

健太 患者さんから採取された血液や尿が、ここで分析されているわけですね。

津呂 はい。病院で検査を受けることはあっても、検査室の中までご覧になる機会は少ないと思います。実は皆様のすぐそばで、当社の製品が使われています。

みどり 向こうで働かれているのは、どなたかしら?

津呂 あちらは臨床検査技師*の方です。医師が病気の診断や治療方針の決定を行う上で、検査技師の方から伝えられる検査情報は欠かせません。

みどり でも、これだけ多くの検査が行われている割には、検査技師さんが少ないような...

津呂 それには、当社のIT(情報技術)が一役買っています。ITによって検査機器の動きを制御し、検査業務を自動化することで、検査にかかる時間を短縮しているんです。

健太 だから少人数でも大丈夫なんですね。

津呂 はい。これにより、検査技師の方は検査を行うだけではなく、より高度な分析を行い、詳細な情報を付加して医師に提供することができます。

健太 お医者さんも、診断がしやすくなりますね。

津呂 さらに、さまざまな検査結果をまとめて電子レポート化し、ネットワークを通じて医師に素早くお伝えすることも可能です。検査結果をすぐに確認して診断いただけるので、患者さんの待ち時間も減らせます。

みどり それはいいですね! 寒い廊下で何時間も待

たされたりするのは大変ですから!

津呂 ほかに、検査室スペースの有効活用による待合室の改善など、診療全体に対するより付加価値の

高い提案を実施していきたいと考えています。

健太 シスメックスの提案活動は、もはや検査室の枠にとどまらないんですね!

お客様の声

慶應義塾大学
医学部教授
大学病院
中央臨床検査部長
村田 満 様



検査の安全性を確保した上で、業務の効率化や、医師への新たな診療支援を図るという目標の実現には、検査室システムの進化が大きな課題でした。シスメックスの検査情報システムを導入した結果、検査の安全性の確保と業務の効率化はもちろん、患者様の待ち時間低減や、医師への情報提供までを充実させることができました。今後もシスメックスには、医療サービスの向上につながる総合的な提案を期待しています。

東京都心に位置し、全国でも有数の大規模病院である慶應義塾大学病院様の1日の外来患者数は約4,000人。1日に約6,000本もの検体が取り扱われる中央臨床検査部では、検査室全体をカバーする検査情報システムを導入いただいています。

株主様アンケートのご報告



前号の株主通信にて実施したアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。ご要望や激励のお言葉など多数いただき、IRスタッフ一同にとって大きな励みとなりました。皆様から頂戴したさまざまなご意見を、今後の事業活動や株主通信の作成に活かしてまいりたいと思います。

自由ご記入欄

- 他社に先駆けての先進性を買っています。今後も前を向いて走り続けてください。(70歳以上、男性)
- 中長期の経営方針、計画に期待しています。(60歳代、男性)
- 読みやすく素晴らしい株主通信だと思います。(60歳代、女性)
- 個人投資家でも十分早く情報を得られるよう、さまざまな手段で配信してください。(60歳代、女性)

IRウェブサイトをはじめ、より一層の情報充実に努めてまいります。



- 株主に対する会社見学会の実施を期待したいです。(40歳代、男性)

ご要望をもとに社内で検討したいと思います。IRウェブサイトには事業所見学を体験できるバーチャルツアーのコーナーもございますので、ぜひご覧ください。

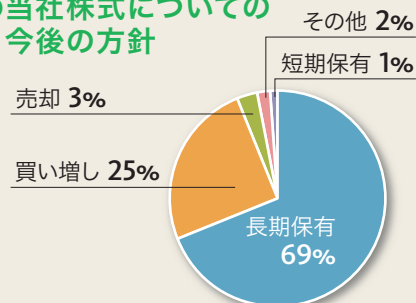


- アジア各国での飛躍に期待しています。(60歳代、男性)

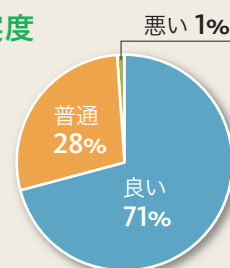
今後も継続してアジア諸国への展開を強化してまいります。



●当社株式についての今後の方針



●情報の充実度



表紙について：創業の地であり、現在も本社を置く神戸。古くから世界の文化を受け入れてきた場所から、シスメックスは世界160カ国以上に製品を輸出しています。

会社概要

(2010年12月31日現在)

■商号	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION	■格付け	A (R&I: 格付投資情報センター)
■設立年月日	1968年2月20日	■従業員数	4,153名(連結) 1,653名(単独)
■資本金	89億9,747万円	■主な事業内容	臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	■上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部 大阪証券取引所市場第1部
■定時株主総会	6月	■証券コード	6869
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	■単元株式数	100株
■公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/	■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
■お知らせ	1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。	■同連絡先(郵便物送付先・電話照会先)	〒541-0044 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)